
恋の懲役 5 分

皿尾 りお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋の懲役5分

【Nコード】

N4196D

【作者名】

皿尾 りお

【あらすじ】

とても幸せな、罰です。あなたも大切なあの人に、罪を犯していませんか？

私は、罪を犯した。

罪を犯したからには、罰を受けねばならない。

彼が下した罰は、懲役5分。

彼の大きな腕の中に、閉じ込められる。

行きかう人ごみの中で。

すごく強く。

だけど、優しく。

「・・・本当に心配したんだ。」

私の罪は、待ち合わせの遅刻2時間だ。

こんなに遅れたのは、初めて。

病院が込んでいたんだもの。

携帯の電源も今日に限って切れていたんだもの。

連絡を取るうにも、取れなかったの。

だけど、言い訳はしなかった。

罪は罪だ。

私は彼の胸の中に顔をうずくめる。

「・・・ごめんね。」

懲役を受ける限りは、反省しなければならない。

彼の腕の中から、赤ん坊を抱いた若い夫婦が見えた。

すごく、幸せそうな、笑顔。

すごく、幸せそう。

・・・私たちも、あんな夫婦になれるかな？

・・・なりたいな。

今なら言えるかな？

言ったら、驚くかな？

言ったら、驚くだろうな。

「・・・あと、1分。」

彼の腕の中は、信じられないほど、心地いい・・・

あと、1分。

この温もりがあれば、生きていける。

だから、今なら言える。

本当は、すごく怖いけど。

「・・・ごめんね。もう、別れよ・・・」

・・・0分。

彼は、本当に、驚いている。

でも、ごめんね。

本当に、ごめんね。

なんか、もう、治らないらしいよ。

本当にびっくりしたよ。

もうすぐ、死んじゃうんだって。

・・・私。

あなたは罪を犯してないんだもの。

懲役「私の居ない時間」なんて、そんな刑に服す事ないよ。

だから、何も言わずに、別れようね。

「・・・さよなら」

本当に幸せだったよ。

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4196d/>

恋の懲役 5 分

2010年11月27日20時52分発行